



# 未来に広がる経済・観光の交流

## 環日本海経済圏の確立と人材育成



8月24日(水)～27日(土)までの4日間、日本・中国・韓国・ロシアの4力国7都市の都市代表・経済代表を本市に招き、「第17回環日本海拠点都市会議」を本市で初めて開催しました。会議では、環日本海圏域の国際交流・経済交流促進に向け、幅広く情報交換を行うとともに、具体的な方策について協議を行いました。

**問い合わせ先** 本庁舎企画調整課 ☎0857-20-3153

### 開かれる環日本海交流への道

「環日本海拠点都市会議」は、日本、中国、韓国、ロシアの都市代表が一堂に会し、地方の視点で環日本海圏域の一体的な発展方策を話し合う場として、平成6年から開催されています。本市は、平成21年からこの会議に正式参加し、中国、韓国、ロシアとの国際交流・経済交流を積極的に推進しています。

本市では、昨年のロシア・ウラジオストク市との友好交流に関する覚書締結に続き、本年3月にロシアサポーター



環日本海学生交流クルーズ事業

に開設。7月には本市を会場に「環日本海学生交流クルーズ事業」を開催し、韓国、ロシアの大学生18人がDBSクルーズフェリーを利用して来日し、鳥取大学、鳥取環境大学の学生と交流を深めました。また、8月には鳥取空港とウラジオストク空港を結ぶ相互チャーター便が就航。鳥取市民51人、ウラジオストク市民42人の相互訪問により、一層の観光交流、経済交流が図られています。

### 一体的な発展方策を協議

8月25日(木)、鳥取環境大学で開催した会議には、日中韓3カ国から7都市の

代表が参加。「環日本海地域における経済交流の新たな飛躍」をテーマに、各都市の国際交流・経済交流の取り組みを発表しました。

本市からは、7月に開催した環日本海学生交流クルーズ事業の継続開催と、会員都市間の災害時相互支援について検討することを提案。また、鳥取環境大学の公立化や鳥取砂丘「砂の美術館」の開館についても紹介しました。

各都市代表による発表後、会議での合意事項を備忘録に取りまとめ、署名を行いました。備忘録では、本市が提案した学生交流事業の継続開催が合意されたほか、新たな取り組みとして、各会員都市に特産品販売拠点の設置を検討することなどについて確認されました。

各都市代表団と経済代表団は、翌26日(金)、鳥取産業体育館で開催された「とっとり産業フェスティバル2011」の開幕式に出席。午後には、鳥取商工会議所をはじめとする県内4商工会議所と、中国・韓国・ロシアの4都市の経済



第17回環日本海拠点都市会議に参加した各都市の首長

代表団による会議が開催され、圏域の経済交流について活発な意見交換が行われました。今後とも会員都市との協力関係を強め、各種交流事業を通じて、環日本海交流に対応した人材育成と地域の経済活性化につなげていきます。

※「第17回環日本海拠点都市会議」は、会議名称として「日本海(東海)」と併記した表現を用いております。この会議は日本、韓国、中国、ロシアの加盟都市が持ち回りで開催するもので、これまでの表現を踏襲し、会議名称として併記された表現を用いました。本市は、外務省の見解や国連公式文書で標準的な地名として「日本海」と呼称することが公認されていることを理解しており、今後の国際交流にあたり、我が国の公式的な立場に基づき、国益や国際情勢を十分認識しながら推進してまいります。



# よみがえれ湖山池！ 美しい水環境を取り戻そう

湖山池一斉清掃の様子（2011.7.3）

8月7日（日）、とりぎん文化会館で、日本最大の湖山池の望ましい水環境などを市民のみなさんと一緒に考えるため、「湖山池将来ビジョンシンポジウム」が開催されました。

**問い合わせ先** 本庁舎生活環境課 ☎0857-20-3217

## 水質浄化の取り組み

基調講演では、鳥取大学副学長・細井由彦さんが「湖山池のこれまでとこれから」、京都大学教授・勝見武さんが「地盤環境からみた自然資源」、東京大学教授・山室真澄さんが「日本における人と湖沼の係わり―里湖論―」と題してそれぞれ講演されました。

パネルディスカッションでは、「湖山池をはじめとする湖沼問題の解決に向けて」をテーマに、地元の山王団地自治会の水質浄化の取り組みや、市と県が合同で設置した「湖山池会議」の進捗状況を紹介します。



パネルディスカッションの様子

地域住民による湖岸の清掃について紹介されました。

市や県の担当者からは、流入負荷削減のための下水道整備の必要性や、底泥のしゅんせつやヒシの回収など、水質浄化の取り組みが紹介されました。

## 市民のみなさんと一緒に

「湖山池会議」が昨年11月に行った「湖山池市民意識アンケート」によると、湖山池の将来像を問う質問に対し、43％の人が「湖山池の塩分濃度を東郷池程度にして、ヒシやアオコの抑制を図り、景観を良くしたい」と回答されています。

県の担当者からは、8月3日（水）に開催された「湖山池会議」で、同アンケートや営農意向アンケート、水質予測シミュ



水質浄化イカタ設置の様子

レーションの結果をもとに、今後、悪臭や汚濁の要因であるヒシやアオコの発生を抑制し、景観を含めた環境改善のため「湖山池の塩分濃度を、東郷池程度に上げて管理することが望ましいが、その際に必要になる農業対策を検討する」との方向性が紹介されました。

200人余りの参加者からは、「湖山池を観光や市民の憩いの場として活用できるようにしてほしい」などの意見が出され、関心の高さが伺えました。本市は、今後も市民のみなさんと一緒になって、湖山池の水環境の保全を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

※この事業は全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施されました。